

医師会活動に全員の参加を

美馬郡医師会副会長 木下 徹



本誌「てあて」が発刊され、各方面から賞賛のお言葉を頂き喜ばしい限りです。会員相互の交流、親睦と発展の為に企画され、長きに亘り培われた伝統の下に会員はもとより、医療に携わる多くの人々が寄稿されたことが何より、他に類を見ない創刊号となったものと思います。

今や医療をとりまく環境は誠に厳しく、又医学、医療の進歩はめまぐるしく、片時も安閑としてはおれません。医学研究の成果の一部として、遺伝子治療、再生医療、移植医療、生殖医療が取り入れられております。私達が直面する日常の診療においても10年前に比較して著しい変化が起こっています。思いつくまま列挙して見ますと、先ずは医療のIT化、老人保健制度に加わり介護保健制度が導入され老人介護の問題が大きく提起されました。学校保健の充実、学校医の任命への動き、産業医制度により、働く人々の健康管理と、働き易い安全な職場の確立。スポーツドクターの養成。生活習慣病と言う新しい概念に基づき国民の健康の保持、増進、疾病の予防が謳われています。啓蒙と指導と共に、各自治体、各事業所で健康診断が行われています。しかし診断結果の有効な活用が充分とは言えません。保健所で行われている各種の活動への積極的参加。感染症については、予防接種を含めて予防医学への参加。多くの問題を抱えながらも全員参加で行われている救急医療。病診連携の更なる推進。カルテの開示と告知の問題。まだまだ多くありますが私達にとって一番大きな、そして身近な問題は医療事故と医事紛争であります。あってはならないこと、しかし人間が行う以上万人総てがその発生の可能性を否定出来ません。危機管理と報告の義務が政府より課せられました。医師以外の医療に従事する人々は従来、「パラメディカル」と呼ばれて参りました。「パラ」とは二次的と言う意味であり、又、「コメディカル」と言う言葉もあります。「コ」とは共同、同等、と言う意味の接頭語であると辞書にあります。医療従事者はすべて同等で一体となって事に当たらなければなりません。医師以外の医療に従事する各職域の人々を「コメディカル」と呼ぶべきであると言う意見が多くなってきました。医療全般特に危機管理は全員心を合わせてこそ成就出来るもので、医師はその中で指導、推進する一員であるべきだと思います。

現内閣は今までになく、私達の医療経営を圧迫しております。医師本来の使命を全うするには医師全員一丸となって医政に意見を述べるべく、医師連盟の一員として活動することが求められます。今後も生涯教育の場を利用し、コメディカルの人々と共に学び、情報を交換し、共に研鑽し発展しましょう。多様化する医師会活動に皆様一人一役のお気持でご協力頂ければと願っております。

今回も編集の労をとって頂きました、編集長編集委員の各位に深謝申し上げます。